



学校だより 11月号

市田っ子

令和7年10月25日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱい学校

市田HP <http://www.ichida.ed.jp/>

市田HP→



それ、相手のためになりますか？

学校長 森 洋子

前期最大の学校行事、運動会が皆様のおかげで無事終了。子供達がこんなに力を持っていたことを存分に感じる事ができ、心に残る半日となりました。

また10月20日(月)には後期が始まり、急な寒暖差に驚きつつ、季節は確実に秋へと移り変わりました。後期も元気一杯のスタートが切れました。

先日、6年生の道徳科の教科書に「エンザロ村のかまど」という教材があります。次のようなお話です。

昔、アフリカのケニアにあるエンザロ村は、電気も水道もありませんでした。しかし、今は日本の「かまど(エンザロ・ジコ)」が大活躍しています。エンザロ村では、その「かまど」ができるまでは、地面に大きな石を三つ並べ、その上に鍋を置いて料理をしていたそうです。大変使い勝手が悪く、エンザロ村の人は困っていましたが、どうしていいかわからなかったそうです。そこで、このピンチを救おう！と、かまどを考案し、ケニア全土に「かまどの作り方と使い方」を広めた日本人がいます。このかまどは、粘土で塗り固めてつくるかまどで、**材料は現地で簡単に手に入る物。自分たちの力で釜を作る事ができ、鍋を上手に温めることができるようになった、**というお話です。



【出典：エンザロ村のかまど 挿絵より】

私たちは大人は、日ごろの生活の中で、他の人に何かを教えたり、手助けをしたりする立場に立つことが多くあります。ところが、**相手のためを思って行動を起こしても、その結果が必ずしも「相手のため」にはならない場合がある、**ということを気づかせてくれます。

では、成長を後押しし、より大きな喜びを生む手助けとはどんなものなのでしょうか。

この村に日本の人が、多くのお金をかけて水道やガスコンロなどを**プレゼントしてしまう事は簡単な事だったかも知れません。でもそれをしなかった。**これから先のエンザロ村の将来、持続可能な社会の事を真剣に考えた結果、「かまどの作り方」や「かまどを上手に使う方法」を伝える事が大事だと考えたからです。手を差し伸べる時は、相手が現在置かれている状況を深く思いやり、広い視野と将来の事を考えて「どのような方法をとることが、**相手にとって将来的に最もよい結果につながるのか**」を考える必要があるのだと分かります。何を行うにしても、目的を達成するだけでなく、行う方法にも「知恵、工夫、協力、そして他者を思う心」を尽くしてこそ、成果が得られるのだと思います。直接かかわった相手だけでなく、その周囲の多くの人々に幸せを運んだ「かまど(エンザロ・ジコ)」は「本当の豊かさ・相手の事を深く考えた行動」の奥深さを教えてくれます。物質的な豊かさではない価値、お金や最先端の技術ではなく、「知恵、工夫、他者を思う心」こそが、本当の意味での「支え」なるのだと教えてくれます。

子供達は運動会や勉強等、決して簡単ではない1つ1つを、自分の努力によって壁を乗り越えたり、自分自身の力で物事を達成したりした時、その人の心の中に自信や満足感が生まれます。**自分で入れたスイッチは大きくて力強い。**せっかくの手助けや支援も、達成感を味わったり、成長したりする機会を奪う結果になってしまうとしたら、とても残念だと考えています。

学校という**社会は、いつでも上手に成功する!かっこよく100点をとる!**とばかりいきません。**困った時、子供たちの底力が発揮されると信じて、**繰り返しの挑戦や失敗に子供達が、投げ出さずに自分の力で乗り越えていくことができるよう、市田小教職員が、とことん向き合い、保護者の方の力を借りながら、皆で成長を支え合っていける後期にしたいと考えています。

④いちぽん文庫 誕生!

PTAの方&地域の方が、少しずつ集めてくださった資源回収のお金の使い道を PTA 会長さんと相談して、たくさんの新しい本を買っていただきました。図書館補助員さんのかわいい掲示と、市田小の事務の先生が作ってくれた手作り本棚です。地域の皆様&保護者の皆様の資源回収の協力が、子供たちの夢を、知識を広げます。いつもありがとうございます!



学校教育目標

いき生きと学び

ちからいっぱい活動し

だれとでも仲良く

運動会 ～みんなが主役！全力出しきれ 市田結！～

10月4日（土）に運動会が行われました。天気が心配されましたが、最後まで実施できたのは、子どもたちのパワーに圧倒され、雨雲も吹き飛んだからだと思います。

今年は全校リレーを実施しましたが、1人1人が全力を出し切って走りぬく競技は、大変盛り上がりました。赤組・白組の勝敗はありましたが、その眼差しは、キラキラと光り、やり切った後には満足そうな笑顔がありました。最後まで温かな応援をしてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



校外学習 ～貴重な体験学習～

1・2年生が、遠足で埼玉県こども動物自然公園に行きました。2年生が1年生をエスコートして、アスレチックなどで楽しく遊ぶことができました。

4年生は、社会科見学で、六せき頭首工、県立川の博物館、東秩父村和紙の里へ行きました。荒川から用水路に流れる水を見て学び、わくわくランドでは、びしょびしょになって遊び、和紙づくりを楽しみ、とても良い経験ができました。

